

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

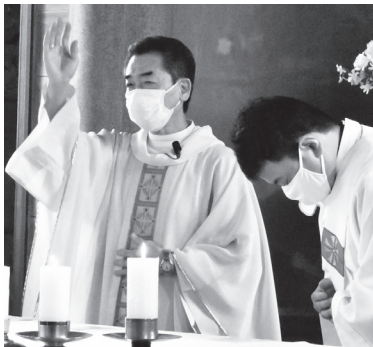
第617号 2021年7月11日

鈴木真主任司祭 主日ミサ説教

2021年1月31日：年間第4主日B年

マルコ福音書 1章21-28節

イエスが「汚れた霊」、『聖書と典礼』にあるように「悪霊」と書かれる場合もありますが“それに取りつかれた人から追い出す”という記事は、福音書に、たまに出てきます。いわゆる「悪魔払い」のようなものとどう関係するのかは、正直よく分かりません。ただ、聖書を注意深く読むと、幾つかのことに気付かされます。



まず、聖書で「霊」とは、いわば“人を動かす力”を指します。「聖霊」は、言うまでもなく神さまからの働きかけの力。そして、「悪」とは“神に反する要素”のことで、そこからすると、「悪霊」とは人を神さまに反する方へ、あるいは神さまから離れさせようとする力と言えるかもしれません。福音書では、それが擬人的に描かれているのですね。

面白いのは、「悪霊」が先に反応することです。しかも、ご丁寧に「ナザレのイエス！お前の正体は神の聖者だ！」などとイエスさんの紹介までしてくれる。まあ一説によると、これは古代における悪霊追放の物語のパターンでもあるそうですが、違う見

方を見ると、福音が示される時、それに逆行する要素が必ず浮き彫りにされると言えるのかもしれませんが。この世的価値観、人間社会の常識など、わたしたちが普段、無意識に従っているものは、そこに〈神さまのものさし〉が示されたとき、その不完全さがおのずと明らかにされます。例えば、神さまが一つひとつのいのちをどれだけ大切にしておられるか。特に、弱い立場に置かれた人、傷ついている人や少数者に真っ先に目を向けられる〈神さまのものさし〉です。人間社会でも少数派を大切にしなければならぬことは分かっている、それを実践するのはなかなか難しい。常に多数派が物事を動かすからです。でも、神さまは違うということなのでしょう。

そして、もう一つのポイントは、福音書が語る「奇跡物語」との共通点です。イエスが奇跡を行われるとき、わたしたちはどうしてもその現象面、つまり病気が治ったとか、障害が取り除かれたとかという不思議な出来事の方に目が行きがちになりますが、本当に大切なのは、「イエスの背後にあって神さまが働いている」ということです。「悪霊追放」の物語も、一番重要なポイントは同じです。イエスを通して神さまご自身が働いていること、「イエスの権威」は神ご自身に由来する。その意味では、わたしたちは、ある意味、安心していいのかもしれませんが。罪という要素を抱えて生きているわたしたち人間は、常に神さまから離れがちになるし、神さまに反する方向にも行きがちになる。でも、そんなと

きにこそ、神さまはその「要素」を必ず打ち払ってくださる。

ある意味、わたしたちは「この世的価値観」と「福音」との間を行ったり来たりしています。でも、そこに、いつもキリストを通して神さまからの「力」が働いている、そのことに気づき、それに身を委ねることができるよう、祈りたいと思います。

2021年2月28日：四旬節第2主日B年

マルコ福音書 9章2-10節

今月も「子どもとともに、ささげるミサ」の代わりとして、きょうの説教は子どもたちに向けてお話しさせていただきます。

小学生の皆さん、元気ですか？このところ、暖かかったり寒かったりの繰り返しで、春が近づいて来たことを感じますね。風邪などひかないように気を付けましょう。

さて、きょうの福音は「イエスさまの姿が変わる」という、なんとも不思議な話ですね。どういうことなのでしょう。「服は真っ白に輝き、この世のどんな、さらし職人の腕も及ばぬほど白くなった。」これも不思議な表現ですけど、実はイエスさまが復活なさったときによく使われる言葉が入ったものだと思います。そのことから多くの学者さんたちは、もともと、この箇所は復活されたイエスさまに弟子たちが会った場面だったのではないかと断言しています。それが何らかの理由で、イエスさまの生前に組み込まれて編集された。それなら、なんとなく分かるような気がします。「イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた」とありますが、聖書で「山」という場所は、神さまと会ったところなんです。そのことも、もともとは復活されたイエスさまとの出会いの出来事であったことをお伝えしますよ。そして、復活されたイエスさまに出会った人は、神さまによって大きく変えられます。きょうの箇所では、ペトロさんも、なにか、とんちんかんなことを言っていますが、実際に復活されたイエスさまに出会った弟子たちは、みんな、それまでとは人が変わったように、力強くイエスさまや神さまのことを人々に伝え始めました。

わたしがイエスさまとの出会いを強く感じたのは、神さまから呼ばれていることに気付いて、司祭になる決心をしたときでした。もちろん、わたしは幼児洗礼で、赤ちゃんのときに洗礼を受けたので、子どものころからイエスさまのことは、ずっと知っていたけど「イエスさまは十字架にかけられて、そのあと復活なさったんですよ」と教えられても、ただ「ふーん…」って思っていました。若いころイエスさまとの出会いを熱く語っている人たちの話を聞いたり、文章を読んだりしましたが、なにかしっくりきませんでした。前にも言いましたが、わたしは若いときは、コックさんになりたかったんです。でも、あるとき、ふと、わたしはコックさんになりたいたけど、神さまはわたしに何をさせたいのだろう…と考えて「神さま、教えてください」って祈ってみたら、神さまは、わたしを司祭として働かせるがっているらしくて、ずっと前から呼んでくださっていることに気付きました。「な～んだ、それなら早く言ってくださいよ」って思ったけど、神さまの方は、ずっとわたしを呼んでくださっていて、それにわたしが気付かなかったのだ、と分りました。そして、そのとき「あ！これが復活されたイエスさまと一緒にいてくださっていることなのだ！」と強烈に感じたのです。わたしにとってイエスさまは、神さまがわたしの名前を呼んでくださっていることに気付かせてくださる方なのです。

そんなわけで、わたしは司祭になりました。そして、神さまは、すべての人をいつも名指しで呼んでくださっているのです。みんなもいつか、イエスさまがいつも一緒にいてくださっていること、そのイエスさまを通して、神さまがいつも呼んでくださっていることに気付くでしょう。いや、もう気付いている人もいるでしょうね。そして、神さまは、きょうの福音の箇所にもあるように「このイエスは、わたしの愛する子だよ、あなたといつも一緒にいるよ」と、わたしたちに呼びかけてくださっています。

わたしたちといつも共にいてくださるイエスさまを通して、神さまがいつもわたしたちを呼んでくださっていることに、一緒に心向けましょう。

(撮影：編集部 土方芳人)

信仰は大きな恵み

助任司祭 ルドヴィコ茨木・西村英樹

早いもので、司祭叙階されてからもう3カ月が過ぎ、山手教会に赴任してから2カ月半になろうとしています。まだまだ経験していないこと、分からないことも多いのですが、これまで学んだ事を生かしつつ頑張っています。新型コロナウイルス感染拡大のため、まん延防止期間中ということもあり、教会も活動が制限されています。なかなか、山手教会信徒の皆さまとの接点も設けにくく、交流する機会が持てずにいますので、まだお会いできていない方々も多いことでしょう。去年、助祭のとき、宣教司牧実習でここ山手にお世話になっておりました。できるだけ多くの人と接したい、せっかく助祭になったのだから共同体の役に立ちたいと思っていましたが、やはりコロナ禍のためにそれも叶わず。また、わたしは子どもが大好きなので、教会学校の子もたちと一緒に学んだり遊んだりする時間が持てたらなあと思っていましたが、今年もどうやら難しいようです。いまは平日、週2回ほど修道院でシスターやブラザーたちとミサをささげ、教会の階段や門前、駐車場で掃き掃除をし、月1回のフォローアップ講座(新受洗対象の講座)の準備や、主日の説教の準備をするというのが主な仕事になっています。時折、朝の掃除をしてくださる信徒の方々とお話をし、幼稚園に行く子どもや送り迎えのご父母の方々と挨拶を交わすのが、人との交流の唯一の楽しみです。

さて、実は以前から疑問に思っていたのですが「この教会にはサクラリウムはありますか？」と香部屋係に聞いてみました。サクラリウムというのは、洗礼式で使った聖水や古くなってしまった聖水などを捨てる場所です。祝別されたモノは特別なものなので、ゴミ箱や流しに捨てるわけにはいかず、焼却したり土に返したりして、自然に返さなければなりません。サクラリウムは、配管先が教会の床下などの土につながっており、人や生き物が踏み荒らす事ができないようになっています。香部屋係の方

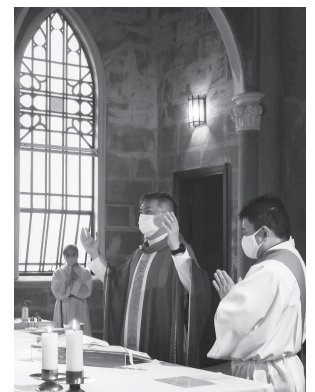


によると、どうも無いようです。実は、わたしの出身教会の鷺沼教会にも無く、日本の教会は常設しているところが少ないように思います。聖水のみならず、例えばカリスを拭く布(プリフィカトリウム)やミサの際、ご聖体やカリスの下に拭く布(コルポラーレ：司祭がご聖体を割ったときに飛び散る欠片は、ここで受け止められます)を洗濯した水も、自然に返さなければなりません。おそらく香部屋係の方々は、土に返す先に苦慮していることと思います。

その鷺沼教会での話ですが、お子さんの受洗を機に、ご自身も洗礼を受けられたご婦人の話です。受洗後奉仕の場として、香部屋係に任じられました。先に述べた使い終わったプリフィカトリウムやコルポラーレを洗濯するため、自宅に持ち帰ります。先輩香部屋係の指導どおり、手洗いをして、使った水を自宅の植え込みの土に返します。その植物は、既に枯れかけていました。毎回、同じ植え込みに返していました。すると！その植物は息を吹き返し、また花を咲かせました！「なんでだろう、枯れていたのに。不思議だなあ」とご主人に話されると、「いつもその水をそこに捨てていたからじゃない」と当たり前のように言われたそうです。そうかと合点がいて、ご聖体の力、尊いものの力を感じたそうです。わたしがその話を聞いたとき、まだお子さん一人とご婦人だけがクリスチャンでした。ですが、今はご家族全員が洗礼を受けています。

信仰生活の要とはなんでしょう？「お子さんやご家族が教会にいかない。教会から離れてしまった」と相談を受けます。きっと「いつもその水をそこに捨てていたからじゃないか」と言ったご主人は、既に信仰のセンスを持っていたのだと思います。尊いモノを尊いモノとして扱うこと。自分より偉大な何かがあり、生かされている自分に感謝し過ごすことこそが、信仰生活の要なのではないでしょうか。

ときとして、合理的な考え方は信仰を失わせ神を



司式する西村師

殺そうとし、いつの間にか自分が主人になってしまっています。信仰とは与えられた徳です。そして、信仰が愛を思い起こさせ、希望を見出させるのです。信仰は大変な時代を生きる私たちに与えられた大きな恵みではないでしょうか。

(撮影：編集部 田中麻子)

外国籍の子どもたちが初聖体を受けました

キリストの聖体の主日、6月5日(土)19時の英語ミサでは、ダリル・ディニョ師司式により、次の5人の女の子たちが初聖体のお恵みに与りました。

敬称略・順不同(年齢/国籍)

1. Calyha Godwin (9/U.S)
2. Luciana Valderrama Ordonez (10/ Peru)
3. Madison Onate (10/U.S)
4. Rylan Marie Kelly (10/U.S)
5. Valerie Skok (8/U.S)

花嫁のような白いドレスを身にまとい、始めは緊張の面持ちでしたが、無事にご聖体をいただき会衆から祝福の拍手を受けると、笑顔がこぼれました。

初聖体おめでとうございます。



家族の祝福を受けて



光を灯して



いよいよ初聖体



ミサ前に優しく話しかけるダリル・ディニョ師



リーダーと一緒にほっとした表情で

(編集部 田中麻子)



子どもたちにはご聖体の意味を、おとなには信仰を子どもとともに、と説くダリル・ディニョ師

子どもたちと教会のつながり

昨年2月の“子どもとともに、ささげるミサ”を最後に、教会学校はコロナ禍のため休校となりました

た。幼児科からずっと通っていた子どもたちに卒業式をしてあげることができず、鈴木師を始めリーダーたちは、なんとか子どもたちと教会とのつながりを持ちたいと、5月から「教会学校便り」を毎月発行し、各家庭に郵送しました。

そして、初聖体とその準備クラスだけでも再開したいと話し合い、ようやく9月から実現しました。準備クラスは感染対策のため教会ホールで行われ、いつも以上に緊張感を持って臨みました。困難な状況の中でも、当時、助祭でいらした西村師にもご指導をお願いすることができたのは、リーダーたちにとって大きな喜びでした。ミサは例年11月の「王であるキリスト」の日に行われていますが、去年は特別に11月21日（土）13時から行われ、初聖体を受ける子どもたちと保護者、リーダーたちだけの参加となりました。教会全体で共に祝うことができなかったのは残念でしたが、無事に実現し、感慨深いものがありました。また、去年は行うことができなかった卒業式も、今年は3月14日11時30分のミサ後に行うことができました。

通常の教会学校は新年度と共に再開したいと考えていましたが、5月の連休明けからようやく再開となりました。低学年と高学年に分け、できる限りの対策を取りながら行っています。今年の初聖体クラスは水上助祭が担当してくださっています。

コロナ禍の制限がある中で、こうして子どもたちと教会のつながりを作り続けることができたのも、子どもたちの頑張りや保護者の皆様のご理解、リーダーたちの工夫と努力があってこそと感じます。

今後も教会学校での学びが豊かなものになるよう、工夫を重ねたいと望んでいます。7月11日には、1年5カ月ぶりに“子どもとともに、ささげるミサ”が行われます。



水上助祭ご指導の
初聖体クラス

(教会学校 太田康子)

2021年6月度教会委員会議事録

日時：2021年6月6日(日) 13:00～14:45

場所：教会ホール

議事内容（議事進行：太田委員長）

1 主な審議確認検討事案 ※順不同

(1) 合葬墓について

【墓地委員会からの報告】

- 工事は、雨などで多少押しているものの7月31日完了に向け、ほぼ予定どおりに進んでいる。
- 墓地委員会の中で合葬墓の散骨口の蓋のデザインについて異論が出た。
- これまでのデザインでは、ガラスを想定していたが、周囲の石との相性が良くないとの意見が出ている。
- 他にも問題が考えられることから、墓と同じ石の蓋で設計事務所に依頼。
- この変更により工期が多少ずれる可能性があるものの大きな影響はない。

【教会委員会からの意見】

- 一般的なお墓は、石材屋を呼んで動かすものと思われる。
- あまり軽々と動かせるのは、好ましくないと考える。

→ 大人の男性が2人がかりで手前にスライドするような構造を考えている。

【墓地委員会からの報告】

- 散骨口の蓋に山手教会になじみのある絵をデザインすることで進めている。
- 工事期間中の月～金は立ち入り禁止、土日は墓参できるように案内しているが、雨なども重なり足元が大変悪い状況である。そのため足元に気を付けるよう注意喚起の掲示を行う。

【教会委員会からの意見】

- 墓参の際にフェンスをまたぐところが危険と感じる。
- 公道に接しているところもあり、現状何らかの手当をすることは難しい。障害物があるということに注意喚起する掲示を出して現状は対処したい。ただし、これで対応に不足がある場合、別の手立てを検討する。

(2) 今後のミサと教会活動について

- 教会において感染者が出た場合の対応について考えたい。
- 幼稚園では、本人が感染者又は濃厚接触者ということであれば、報告していただくことになっている。
- 学校では、感染者が出た場合、該当のクラスを休みにしていたが、現状は感染者、接触者に絞り込んでいる。家族が感染した場合は難しい。
- 現状では、陽性と診断された場合に教会に報告するような要請は行っていない。ミサ毎に名前などの確認をしているが、感染者が出た場合の対応について考えていた方が良いものと思われる。
- 感染が判明したからといって陽性者から教会に連絡をもらうことを義務付けるのは困難。ただし、保健所などにおいて陽性者の行動調査から連絡がある可能性がある。連絡があった場合には、教会として何らかの対応をすべきである。
- 連絡を受けたにもかかわらず何も対応しないということは問題である。
- 現状、陽性者が出た場合の各ミサグループへの事務所からの連絡については、対応可能な状況である。
- 英語ミサについては、ICCにおいて周知することは可能な状態にある。
- ワクチンを接種したからミサに参加したいという要望がこれから増えることが想定される。
- ワクチンを接種したと言ってもその個人だけで、全体に行き渡り集団免疫ができていない状況ではない。ミサの人数を増やすというのは、現時点では時期尚早であると考えられる。
- ワクチンを接種したからミサに参加したいという申し入れが多数発生した場合、ミサグループを増やすなどの対応を検討する。

(3) 神奈川県建築士会70周年記念事業書籍への教会建物掲載について

- 神奈川県内の建物を紹介する「かながわ建築ガイド」に山手教会の写真、概要などを掲載したい旨の申し込みがあった。
- 掲載の内容については、神奈川県建築士会がゲラを送ってくるものと思われる。

【決定事項】

- 記事内容について入手できたら情報システム委員会にて確認いただく。

(4) 草刈り機の購入について

- 信徒館と幼稚園の間にドクダミなどの雑草がひどく草刈り機を購入したい。
- 幼稚園もトイレの窓のところに背の高い雑草があり、蚊の発生も気になることから、雑草対策はしてほしい。
- 刈り機は一時的な対処であり、恒久的な対処として除草剤と防草シート（もしくは砂利）による対応が望ましい。

【決定事項】

- 草刈り機の購入については承認する。
- (5) 信徒外(幼稚園卒業者)の結婚式希望について
- 今後、山手信徒以外の方からの結婚式の申し込みについてどのように対処するか。
 - 基本的には個別対応でいいと考える。

【決定事項】

- 原則としては信徒のみ。
- (6) 聖堂2階席階段に滑り止めを付けることについて
- 聖堂の2階への階段で転び、けがをした方がいることから滑り止めを検討してはいかかが。
 - 滑り止めを付けると下るときに、かえって突っかかることで危険が増す可能性もある。

【決定事項】

- 滑り止めは付けず、階段の段が見えるように階段の照明などを今後検討する。
- 手すりを使うことや、他の方がフォローすることも必要。

(7) 第3地区共同宣教司牧委員会開催(7月11日予定)について

- 昨年から中止になっていた「第3地区共同宣教司牧委員会」が7月11日(日)15時から末吉町教会にて行われ、山手教会からは、主任司祭と太田委員長が参加。
- 7月11日(日)の午後は“子どもとともに、ささげるミサ”が15時に予定されていたが、この時間を早めたい。
- →ミサは、13時30分に時間を変更する。

(8) 他、各会から**【事務所から】**

- 例年バザーの際に粗大ごみの回収などを行っているが、今年はバザーが無い為、期限を決めて粗大ごみ回収の依頼を業者に行いたい。その際、各委員会において処分するものがあれば廃棄を行ってはいかがか。

【決定事項】

- 家庭ごみの持ち込みが無いように留意すべき。
- 司教館にも声をかける。

2 今後の活動**【福祉委員会】**

- 現在フードドライブについて協力をお願いしている。
 - 寿町のカレーの炊き出しについて、今年は9月ぐらいで検討されており、山手教会として協力するかを考えたい。
 - 例年であれば、野菜などの仕込みで教会ホールにて20人ぐらいで対応していたが、コロナの関係で集まることが懸念される。
- 仕込みを少人数の交代制とかで対応はできないか。
- カレーにこだわる必要はない。また、炊き出しではなくパッケージした弁当の形で配るということも検討してみてもどうか。
- 工夫しながら行う方向で検討する。
- これまでは、日雇い労働者がお盆時期に仕事が無いということも意味していたが、現在では対象者が高齢者や障害者になってきていることもあり、時期を変えることも検討すべきではないか。

3 報告事項：振り返り・気付き**【教会学校の開校について】**

- 5月から教会学校が低学年、高学年の2グループに分けて開校。
- 水上助祭に初聖体クラスを担当していただいている。
- 7月11日(日)の“子どもとともに、ささげるミサ”については、最大45人の子どもが参加する予定であり、保護者を合わせると100人を超えてしまう。

→ 70人程度であれば、聖堂で問題ない。それを超えるのであれば一部が教会ホールで映像を映すなどで対応を検討してはいかがか。

- 当日の人数を把握し、次回教会委員会にて報告する。

【来年度水上助祭の司祭叙階式に向けての準備について】

- 司祭叙階の準備委員会の長として関さんに依頼。
- 夏の終わり頃から活動準備を行う。

【ヨゼフ会】

- サーマルカメラ、アルコールディスプレイを購入し聖堂入り口に設置。ミサの受付にて使用。
- ヨゼフ会、ロザリオ会、ICCにて共同購入し教会に寄付した。

【幼稚園】

- 毎年バザーの際に使用していたテーブルを幼稚園で預かっている。できれば教会で引き取っていただきたい。

→ 教会で引き取り、処分などを検討する。

【営繕】

- 聖堂2階への階段について滑り止めなどの見積もりを業者に依頼することは可能だが、内装の雰囲気とそぐわない可能性が懸念される。
- 照明などの改善により階段の段差が見えるような改善を今後検討する。

4 主任司祭から

- ドンボスコからカトリック生活のバックナンバーを無料で配布したいとの依頼があった。
- 事務所からドンボスコに配布する旨連絡する。
- 5月15日(土)に予定していた教区学連の集まりを5月29日(土)に行った。10人ほどが集まり、参加者は皆、楽しんでた。
- 教区の青年の集いを6月27日(日)に予定。
 - 教区の高校生の集いを8月8日(日)に予定。
 - 水上助祭に月1回説教をお願いしており、6月27日(日)を予定。

5 次回教会委員会

7月4日(日)13時00分～15時30分終了予定。

(総務担当 宮 裕一)

2021年7月・8月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

| 主 日 | 聖 歌 | | | 聖歌隊 | 時 間 | 奉 仕 者 | | | | ミサ割当 |
|-------|---------|---------------|----------------|--------------|----------|-------|-------|--------|-------|------|
| | 答唱詩編 | アレレヤ唱 | 感謝の賛歌 | | | オルガン | 先 唱 | 聖書朗読 | | |
| 7月18日 | 年間第16主日 | 典123 ①②④ | 典272 年間16B | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 村 松 | 山本(康) | 工藤(元) | 志 村 | 夜ミサA |
| | | | | | 7:30 | 渡 邊 | 末 澤 | 石川(喜) | 中村(桂) | 朝ミサA |
| | | | | | * 11:30 | 手 塚 | 村田(義) | 中 川 | 岩 隈 | 昼ミサA |
| 25日 | 年間第17主日 | 典18 ⑤⑦⑧ | 典269 年間17B | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 忠 海 | 田中(麻) | 佐藤(篤) | 阿 部 | 夜ミサB |
| | | | | | 7:30 | 太 田 | 亀 井 | Sr. 荻原 | 藤 本 | 朝ミサB |
| | | | | | * 11:30 | 米 沢 | 藤原(ま) | 川 田 | 鈴木(理) | 昼ミサB |
| 8月1日 | 年間第18主日 | 典59 ①b④a'⑥ | 典272 年間18AB | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 太 田 | 吉 川 | 遠 藤 | 櫻 井 | 夜ミサA |
| | | | | | 7:30 | 手 塚 | 時 久 | 島 田 | 石 賀 | 朝ミサA |
| | | | | | * 11:30 | 中 川 | 曾 禰 | 後 藤 | 紀國谷 | 昼ミサA |
| 8日 | 年間第19主日 | 典128 ①②③ | 典269 年間19B | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 村 松 | 竹之内 | 新井田 | 島 田 | 夜ミサB |
| | | | | | 7:30 | 中 川 | 石 川 | 柳 川 | 神 近 | 朝ミサB |
| | | | | | * 11:30 | 佐 藤 | 佐藤(篤) | 川 田 | 木 原 | 昼ミサB |
| 15日 | 聖母の被昇天 | 典36 ②④ | 典276 聖母被昇天 | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 藤 沼 | 斎 藤 | 鈴木(明) | 福 田 | 夜ミサA |
| | | | | | 7:30 | 渡 邊 | 二 宮 | 田 口 | 細 谷 | 朝ミサA |
| | | | | | * 11:30 | 米 沢 | 遠 藤 | 梅 原 | 上 瀧 | 昼ミサA |
| 22日 | 年間第21主日 | 典128 ①⑤⑥ | 典269 年間21B | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 村 松 | 山本(康) | 工藤(元) | 志 村 | 夜ミサB |
| | | | | | 7:30 | 太 田 | 末 澤 | 東海林 | 津久井 | 朝ミサB |
| | | | | | * 11:30 | 米 沢 | 村田(義) | 川 田 | 鈴木(恵) | 昼ミサB |
| 29日 | 年間第22主日 | 典101 ①② | 典272 年間22B | ミサ曲1 典205 | 前日pm5:00 | 忠 海 | 田中(麻) | 佐藤(篤) | 阿 部 | 夜ミサA |
| | | | | | 7:30 | 太 田 | 亀 井 | 花 田 | 石 井 | 朝ミサA |
| | | | | | * 11:30 | 手 塚 | 藤原(ま) | 小 松 | 荻原(恵) | 昼ミサA |

(注) ・コロナ禍の続く時期、今後暫らくの間、ミサ中の聖歌は少人数の聖歌奉仕チームによって歌われます。(※印)

当面は11:30のミサで「答唱詩編」「アレレヤ唱」「感謝の賛歌」のみを歌います。
会衆の皆様は声を出して歌わず、共に心の中で歌い祈りましょう。

・「子どもとともに、ささげるミサ」は当分ありません。

編 集 後 記

2018年7月に北アルプス登山をしたときのことで、立山連峰の雄山(3,003m)から別山へ続く稜線を歩いていると、右側の谷底から稜線を越えて反対側へ渡ろうとして一生懸命に羽ばたいているチョウに出会いました。そのチョウは左側の谷底から吹き上げて来る冷たくて強い谷風に行く手を阻まれ、何回も押し戻されていましたが、あきらめずに稜線越えに挑戦していたのです。チョウはアサギマダラでした。このチョウは標高の高い山地に多く生息する体長が5~6cmの美しい昆虫で、北アルプスでは、よく見かけます。無事に稜線を越えることができるのかを確認したかったのですが、時間的に余裕がなく、通り過ぎました。次にアサギマダラと出会ったのは、2日後の大日連峰(大日岳・中大日岳・奥大日岳の3峰)の大日岳(2,501m)からの下山途中で、突然どこからか現れ、わたしの目の前をひらひらと舞っていました。この連峰では、各種の高山チョウの他にライチョウ・イワツバメ・イワヒバリ・アキアカネ(俗称:赤とんぼ)も確認しました。この山域は多種類の高山植物が多く、昆虫もたくさんいるところから、これらを餌とする生き物も多いと思います。また、この連峰には数回登っていますが真夏でも極端に人が少なく、近くには雄大にそびえる岩の殿堂・劔岳(2,999m)や大規模なカール群を持つ薬師岳(2,926m)、立山連峰、遠くには槍・穂高連峰を一日中、眺めながら歩くことができます。アサギマダラは“無事に稜線を渡れた”と、わたしに会いに来てくれたのでしょうか。(土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。